

# 建設業社会貢献活動事例集

平成18年度

生活を守り  
まちをささえる  
建設業



社団法人 全国建設業協会  
47都道府県建設業協会



## はじめに

我が国経済は、設備投資の増加など好調な民需に支えられ、いざなぎ景気を超えた拡大が続いていると報道されているが、国・地方公共団体における財政逼迫の影響から建設投資が大幅に減少し、さらに、各地で頻発する低価格受注の影響から、建設業界、特に、地域の中小・中堅建設企業は、未だかつてない厳しい経営環境に直面している。また、近年の公共事業不要論や構造計算書偽装問題、談合事件等の報道により、国民・社会からの信頼が大きく損なわれるなど、建設業界に対する世論は大変厳しいものがある。

しかしながら、地域の建設企業は、地域経済を支える基幹産業として、良質な社会資本整備の提供と雇用の維持・確保はもとより、災害時における応急復旧活動、河川・道路等の清掃活動、各種のふれあい活動による地域住民との交流など、様々な社会貢献活動を実践している。こうした地域建設業界の取組みについては、マスコミ等において報道される機会も非常に少なく、また、自ら多くを語らない地域建設業界特有の体質もあって、必ずしも国民・社会から正しい理解と認識が得られていない状況にある。

このため、本会では、平成 18 年度より毎年 7 月を、「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を、国民・社会に広くアピールするとともに、公共事業への理解を深める活動を展開することとした。

本事例集は、本会が平成 18 年度「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」の一環として実施した建設業社会貢献活動功労者表彰に寄せられた会員企業並びに建設業協会・支部等の代表的な活動事例を取りまとめたものである。地域建設業界が果たしている企業の社会的責任、また、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の社会貢献活動の一端を紹介するとともに、近年、相次ぐ巨大地震、地球温暖化等の影響による豪雨、台風等による災害から、国民生活の安全・安心を守るため、計画的かつ継続的な社会基盤整備の必要性について、関係各位に広くご理解いただく一助となれば幸甚であります。

平成 19 年 3 月

社団法人 全国建設業協会



## 目 次

1. 報告書の概要 .....	1
2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について .....	2
(1) 開催趣旨 .....	2
(2) 行事開催 .....	2
(3) 功労者表彰 .....	5
3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動から抜粋 — .....	7
3. 1 協会・支部等の活動事例 .....	7
(1) 災害復旧支援活動 .....	8
(2) 防災支援活動 .....	17
(3) 建設業ふれあい活動 .....	19
(4) 環境美化活動 .....	21
(5) 環境保全活動 .....	24
(6) 社会福祉活動 .....	25
(7) 建設業の啓蒙・イメージアップ活動 .....	27
(8) その他 .....	28
3. 2 会員企業の活動事例 .....	29
(1) 災害復旧支援活動 .....	30
(2) 建設業ふれあい活動 .....	33
(3) 環境美化活動 .....	36
(4) 環境保全活動 .....	42

参考資料 リーフレット「生活を守り まちをささえる建設業」エラー！ブックマークが定義されていません。

## 1. 報告書の概要

建設業界、特に地域の建設企業は、公共投資の大幅な減少と過剰供給構造の中で、かつてない厳しい経営環境に直面している。

また、近年、建設業界における不祥事、談合事件の摘発等が相次ぎ、建設業に対する国民・社会からの信頼が大きく損なわれている状況にある。

このような厳しい経営環境下にあっても、地域における基幹産業である建設企業は、良質な社会資本整備を提供する使命とともに、雇用の維持・確保はもとより、災害時における応急復旧活動、河川・道路等の清掃活動、各種のふれあい活動による地域住民との交流を行うなど、様々な社会貢献活動を実践している。

本会では、こうした地域建設業界の取組みを広く国民・社会にアピールし、建設業及び公共事業に対する正しい理解と認識を得るため、平成 18 年度より毎年 7 月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、中央行事を開催するとともに、各都道府県建設業協会と連携し、様々な活動を展開している。

本書は、この中央行事の一環として本会が実施した、都道府県建設業協会・支部並びに会員企業における社会貢献活動功労者表彰(全建表彰規程に準拠)における受賞 73 事例の中から、代表的な 33 事例を分類・整理し、紹介する。

紹介事例は、各都道府県建設業協会・支部等の活動 20 事例、地方協会会員企業の活動 13 事例の二つに大別し、さらに、①災害復旧支援活動、②建設業ふれあい活動、③環境美化・保全活動、④社会福祉活動等のジャンルごとに整理し、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の取り組み等、様々な社会貢献活動について、功労者表彰の申請内容に、新たに写真等を数多く追加挿入し、「平成 18 年度建設業社会貢献活動事例集」として取りまとめたものである。

また、巻末には、この月間の開催に合わせて、建設業に対する理解を得るため作成し、5 万部を全国に配布したリーフレット「生活を守り まちをささえる建設業」(縮小版)を掲載している。

## 2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について

### (1) 開催趣旨

地域の建設企業は、良質な社会資本整備の提供はもとより、災害時における応急復旧活動、河川・道路等の清掃活動、地域住民との交流など、様々な社会貢献活動を実践している。しかしこうした取組みは、マスコミ等において報道される機会も非常に少なく、必ずしも国民・社会から正しい理解と認識が得られていない状況にある。

このため、本会では、平成 18 年度より毎年 7 月を、「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を、国民・社会に広くアピールするとともに、公共事業への理解を深める活動を展開することとし、7 月 27 日、東京・大手町にて「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」を開催するとともに、本年度は 23 の都道府県建設業協会、各種の催しや奉仕活動等が実施された。

### (2) 行事の開催

平成 18 年度「建設業社会貢献活動推進月間」において、本会並びに都道府県建設業協会の開催した行事、実施した活動は次のとおりである。

#### ○全国建設業協会の中央行事

行事名	建設業社会貢献活動推進月間中央行事
日時	平成 18 年 7 月 27 日 (木) 14:00~18:40
場所	経団連会館 12 階ダイヤモンドルーム
内容	1) 会長挨拶 (社)全国建設業協会会長 前田 靖治 2) 来賓ご挨拶 国土交通省大臣官房審議官 大森 雅夫氏 3) 建設業社会貢献活動功労者表彰式 ①規定第 3 条関係 (協会・支部等) 功労者表彰 (35 件) ②規定第 4 条関係 (会員企業) 功労者表彰 (38 件) 4) 建設業社会貢献活動事例発表 ①(社)新潟県建設業協会小千谷支部 ②(社)岐阜県建設業協会 ③(社)愛媛県建設業協会 ④空知経営研究会 5) 記念講演会 テーマ:「文明を支えるインフラ・社会を支える建設業」 講師:竹村 公太郎氏 (財団法人リバーフロント整備センター理事長、工学博士)
参加者	約 200 人 (国土交通省、都道府県建設業協会役員、建設関連団体及び一般関係者)

○都道府県建設業協会の開催した活動

協会名	内容	実施日	参加人数等
青森県	①防災フォーラム「安全・安心の地域づくりを目指して」開催	6月20日	約320人
	②施工現場周辺の清掃奉仕活動実施(全国建設青年の日統一活動)	7月28日	県内一円300箇所
	③フォーラム「東北は訴える」開催	7月31日	約1,100人
岩手県	建設業ふれあい事業実施(建設機械試乗、測量、CAD体験、奉仕活動、手作り体験コーナー等を実施)	6月下旬～ 10月中旬	13地区の小中学校、約1,800人
宮城県	こども病院ボランティア活動実施(こども病院夏祭りにヨーヨー、お面の店出店、夜間照明の提供、花火の協賛等)	7月28日	青年会約20人
山形県	①不法投棄物回収事業実施(9台の工事車輛により、タイヤ、ビン・缶、家電等の廃棄物を回収し分別)	6月24日	約80人
	②長井支部青年部による「いきものふれあい河川公園」除草作業実施	7月8日	11人
福島県	道路ふれあい月間/道路清掃奉仕活動・パトロール実施	8月10日	県内一円 約2,700人
千葉県	①いなげの浜清掃活動実施	7月8日	約400人
	②市原市水防訓練実施(一級河川養老川)	7月16日	約220人
	③千葉地区水防訓練実施(印旛沼放水路・村上橋)	7月27日	約70人
東京都	①一般都民向けの防災展開催	8月22～25日	新宿駅西口広場 約9万人、新宿NSビル
	②建設技術展示会開催(建設業の技術、役割をPR)	10月25～27日	
山梨県	①県土建設写真コンクール、現場撮影会開催	7月25日	約150人
	②環境美化活動実施(河川・道路清掃、学校の砂場の砂入替え)	7月1～30日	約2,500人
岐阜県	「子供110番の工事現場」活動開始(各現場を活用し、不審者から子供たちを守る)	7月7日～	多治見、土岐、瑞浪市の93社
三重県	①環境美化活動実施(海岸・河川・公園・道路・海水浴場の清掃等)(9支部)	7月1日～ 8月19日	業界600人、 一般6000人 約400人
	②地域の燈籠祭への協力(会場整備、片付け、重機等の提供)	7月20～23日	
	③子供SOS活動実施(防犯活動)(予定)	8月4日	約90人
富山県	①建設業に関するパンフレット27,000部の配布	7月10～14日	県内小学校206校、20,000人 52社 青年部約300人
	②「子供110番の家」への登録		
	③地域ボランティア活動実施(海岸・河川・道路美化活動)		
石川県	北陸の自然&都市共生フォーラム開催	11月29日	約350人
福井県	①献血運動実施(勝山建設業協会)	7月7日	約40人 ステッカー200枚
	②地域安全見守隊によるパトロールとステッカーの配布(勝山市内)		

協会名	内容	実施日	参加人数等
京都府	建設関係専門学校・高校生との意見交換会開催	7月18日	約30人
大阪府	夏休み親子現場見学会開催（消防局庁舎）	7月26日	約60人
兵庫県	①環境美化活動実施（河川の清掃、ゴミ収集、草刈等） ②協会の社会貢献CMの放映（サンテレビ）（15秒間）	7月7日、 7月28日 6月～10月	約50人
島根県	「国道まるごとクリーンアップ作戦」実施（幹線道路の路肩の清掃等）	7月24日	青年部会約200人
香川県	社会奉仕活動実施（河川・道路清掃、献血活動、チャリティー募金等）	年間行事として 随時	
愛媛県	道路・河川の清掃作業実施（クリーン愛媛運動に因んだ年間行事）	7月中	約1,800人
福岡県	「ボランティアどんたく1000人大行動・勤マルの日」開催（勤労者マルチライフ支援事業、体験学習、落書き消し、草刈）	7月23日	経営者協会、社会福祉協議会等共催
大分県	献血活動実施（3支部）		約300人
鹿児島県	①こども110番活動講習会協力（ホイッスル820個、帽子30を市に寄付、のぼり、ステッカー、ポスター作成） ②品確法講習会開催 ③県との意見交換会開催 ④献血活動、河川道路の清掃活動等実施（予定）	7月14日  7月10日 7月3日 年間行事として 随時	約250人  約650人 40人
東北連合会	フォーラム「東北は訴える」開催（青森）	7月31日	約1,100人

※以上の活動は、本会が行ったアンケート調査結果の回答により、取りまとめた。

### (3) 功労者表彰

「建設業社会貢献活動推進月間」において、次に掲げる協会・支部等（35 団体）及び会員企業（38 社）が、建設業社会貢献活動功労者として表彰された。

#### ○功労者表彰受賞者 —協会・支部等（規程第3条関係）—

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
災害復旧支援活動	(社)福島県建設業協会	福島県
	(社)新潟県建設業協会 三条支部	新潟県
	(社)新潟県建設業協会 長岡支部	新潟県
	(社)新潟県建設業協会 小千谷支部	新潟県
	(社)新潟県建設業協会 十日町支部	新潟県
	(社)長野県建設業協会	長野県
	(社)長野県建設業協会 松筑支部	長野県
	(社)長野県建設業協会 大北支部	長野県
	(社)長野県建設業協会 諏訪支部青年部会	長野県
	(社)高山建設業協会	岐阜県
	(社)吉城建設業協会	岐阜県
	(社)三重県建設業協会	三重県
	(社)兵庫県建設業協会 豊岡支部	兵庫県
	(社)山口県建設業協会 玖珂支部	山口県
	(社)香川県建設業協会	香川県
防災支援活動	(社)多治見建設業協会	岐阜県
	(社)静岡県建設業協会	静岡県
	(社)兵庫県建設業協会 姫路支部	兵庫県
建設業ふれあい活動	(社)岩手県建設業協会 青年部連絡協議会	岩手県
	(社)京都府建設業協会 京都支部	京都府
	(社)兵庫県建設業協会 淡路支部	兵庫県
環境美化活動	(社)下呂建設業協会	岐阜県
	(社)美濃建設業協会	岐阜県
	碧南建設工業会	愛知県
	(社)兵庫県建設業協会	兵庫県
	(社)愛媛県建設業協会	愛媛県
	(社)大分県建設業協会 青年部会	大分県
環境保全活動	(社)岐阜県建設業協会	岐阜県
社会福祉活動	(社)宮城県建設業協会 登米支部	宮城県
	(社)仙台建設業協会	宮城県
	(社)金沢建設業協会	石川県
建設業の啓蒙・イメージアップ活動	(社)兵庫県建設業協会 伊丹支部	兵庫県
	東北建設業協会連合会	宮城県
	東北建設業協会青年会連絡協議会	宮城県
その他	(社)京都府建設業協会 船井支部	京都府

○功労者表彰受賞者 —会員企業（規程第4条関係）—

表彰分類	受賞者（会員企業）	都道府県
災害復旧支援活動	(株) 出口組	北海道
	三和建設(株)	神奈川県
	(株) 小川工務店	神奈川県
	(有) 昭和建設	神奈川県
	高木建設(株)	長野県
	中部建設工業(株)	長野県
	(株) 大松建設	長野県
	藤森建設工業(株)	長野県
	竹花工業(株)	長野県
	(株) 藤原組	静岡県
	小倉建設(株)	石川県
	森田建設(株)	福井県
	(株) 関組	福井県
	(株) 梅田建設	福井県
(株) 長崎組	福井県	
防災支援活動	三和工業(株)	神奈川県
建設業ふれあい活動	飛島建設(株) 札幌支店	北海道
	北海道建設工業(株)	北海道
	空知経営研究会	北海道
	極東建設(株)	北海道
	(株) 岸本組	北海道
	植村建設(株)	北海道
	釧石工業(株)	北海道
	大岩産業(株)	神奈川県
環境美化活動	北土建設(株)	北海道
	(株) 熊谷組北海道支店	北海道
	(株) 神部組	北海道
	(株) カツイ	北海道
	(株) 平雄組	北海道
	小川組土建(株)	北海道
	北辰土建(株)	北海道
	(株) ほつけん	北海道
	田中建設工業(株)	青森県
	若生工業(株)	宮城県
	(株) 若杉組	静岡県
	(株) 谷組	福井県
	環境保全活動	(株) 土佐谷組
藤元建設工業(株)		広島県

### 3. 社会貢献活動の活動事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —

#### 3. 1 協会・支部等の活動事例

各地の建設業協会や支部・地区協会は、台風や豪雨、豪雪及び地震等の災害発生時における迅速な復旧活動や防災活動など、地域の安全・安心確保に重要な役割を果たしている。一方、各種催し等による住民とのふれあい、河川清掃や植樹など環境美化・保全、定期的な献血活動など、地域社会への貢献活動も積極的に展開している。

平成 18 年度に顕彰した活動事例より、本報告書では次の 20 事例を紹介する。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-01	福島県	(社)福島県建設業協会	自然災害の救援復旧活動
A1-02	新潟県	(社)新潟県建設業協会 三条支部	新潟豪雨災害の復旧活動
A1-03	新潟県	(社)新潟県建設業協会 長岡支部、小千谷支部、 十日町支部	新潟県中越地震及び豪雪災害の救援復旧活動
A1-04	長野県	(社)長野県建設業協会、 (社)長野県建設業協会 松筑支部	長野県北部豪雪災害の復旧活動
A1-05	岐阜県	(社)高山建設業協会、 (社)吉城建設業協会	台風 23 号及び豪雪災害の復旧活動
A1-06	三重県	(社)三重県建設業協会	台風 21 号による豪雨災害の復旧活動
A1-07	山口県	(社)山口県建設業協会 玖珂支部	台風 14 号による河川災害の復旧活動
A1-08	香川県	(社)香川県建設業協会	相次いで発生した台風災害の復旧活動
A2-01	岐阜県	(社)多治見建設業協会	防災パンフレットの作成・配布
A2-02	静岡県	(社)静岡県建設業協会	災害対策関連冊子の作成・配布
A3-01	岩手県	(社)岩手県建設業協会 青年部連絡協議会	子供たちの「建設業ふれあい事業」の実施
A3-02	京都府	(社)京都府建設業協会 京都支部	「鴨川フェスタ」の開催
A4-01	兵庫県	(社)兵庫県建設業協会	「全県一斉奉仕」活動
A4-02	愛媛県	(社)愛媛県建設業協会	さまざまな社会奉仕活動
A4-03	大分県	(社)大分県建設業協会 青年部会	「不法投棄監視パトロール」の実施
A5-01	岐阜県	(社)岐阜県建設業協会	「環境に配慮する建設業」の取り組み
A6-01	宮城県	(社)宮城県建設業協会 登米支部	献血活動
A6-02	石川県	(社)金沢建設業協会	「奉仕委員会」による社会奉仕活動
A7-01	宮城県	東北建設業協会青年会 連絡協議会	ラジオ番組「みちのく漫遊記」による啓蒙活動
A8-01	京都府	(社)京都府建設業協会 船井支部	鳥インフルエンザ防疫作業

## (1) 災害復旧支援活動

協会及び支部等の災害復旧支援活動として、次の8事例を紹介する。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-01	福島県	(社)福島県建設業協会	自然災害の救援復旧活動
A1-02	新潟県	(社)新潟県建設業協会 三条支部	新潟豪雨災害の復旧活動
A1-03	新潟県	(社)新潟県建設業協会 長岡支部、小千谷支部、 十日町支部	新潟県中越地震及び豪雪災害の救援復旧活動
A1-04	長野県	(社)長野県建設業協会、 (社)長野県建設業協会 松筑支部	長野県北部豪雪災害の復旧活動
A1-05	岐阜県	(社)高山建設業協会、 (社)吉城建設業協会	台風23号及び豪雪災害の復旧活動
A1-06	三重県	(社)三重県建設業協会	台風21号による豪雨災害の復旧活動
A1-07	山口県	(社)山口県建設業協会 玖珂支部	台風14号による河川災害の復旧活動
A1-08	香川県	(社)香川県建設業協会	相次いで発生した台風災害の復旧活動

### 自然災害の救援復旧活動（福島県建設業協会）

福島県建設業協会では、台風、豪雨、豪雪、地震など自然災害時における復旧支援活動を積極的に展開している。

最近の主な災害時の支援活動は次のとおりである。

①平成 15 年 台風 10 号及び長雨災害の復旧

出動内容：人員延 2,305 人、重機延 326 台、運搬車延 500 台

②平成 16 年 新潟・福島豪雨災害の復旧

福島県被災状況：死者 1 名、床上浸水 8 棟、床下浸水 90 棟、土砂災害 12 件

出動内容：人員延 3,461 人、重機延 488 台、運搬車延 751 台

③平成 16 年 新潟県中越地震の救援・復旧

被災状況：死者 67 人、負傷者 4,795 人、住宅損壊約 12 万棟、非住宅損壊約 4 万棟（新潟県災害対策本部、平成 18 年 9 月現在）

支援内容：人員 54 人、重機 14 台、運搬車 6 台、食料・日用品等多数、その他義援金等

④平成 17 年 台風 7 号災害の復旧

出動内容：人員延 511 人、重機延 66 台、運搬車延 117 台

⑤平成 17 年 宮城南部地震の救援・復旧

被災状況：負傷者 100 人、住宅全壊 1 棟、住宅一部損壊 984 棟

出動内容：人員 277 人、重機 24 台、運搬車 102 台

⑥平成 18 年 平成 18 年豪雪時の除雪ボランティア

記録的な豪雪に苦しむ会津地域に対して、他の地域の 11 支部から除雪要員及び重機類をボランティア派遣した。

派遣内容：人員 74 人、重機 17 台、運搬車 32 台



平成 18 年豪雪時の除雪ボランティア（館岩村）

（写真：全建ジャーナル）

## 新潟豪雨災害の復旧活動（新潟県建設業協会三条支部）

「7.13 新潟豪雨災害」（平成 16 年 7 月 13 日）では、三条地区の五十嵐川水系の破堤・越水によって地域一帯が浸水し、大きな被害が発生した。

新潟県建設業協会三条支部は、新潟県との災害協定に基づき、被災後、直ちに新潟県や三条土木事務所と連携して緊急連絡体制を確保した。会員も自らが被災する中、災害発生直後から 24 時間体制で破堤・越水箇所の応急復旧作業に当たるなど、支部と会員が一丸となって地域住民の安全・安心確保のために取り組んだ。



新潟豪雨による三条市の浸水状況



五十嵐川の堤防決壊



三条市内の道路冠水



五十嵐川堤防の復旧作業



泥土の搬出作業

（写真：三条市ホームページ）

## 新潟県中越地震及び豪雪災害の救援復旧活動（新潟県建設業協会長岡支部、小千谷支部、十日町支部）

平成 16 年 10 月 23 日に発生した「新潟県中越地震」は、新潟県中央部を震源とする最大震度 7（川口町）の直下型大地震で、死者 67 名、負傷者 4,795 名、住宅損壊約 12 万棟、非住宅損壊約 4 万棟（新潟県災害対策本部、平成 18 年 9 月現在）など大きな被害をもたらした。また、被災地が中山間地域であり、地震の 3 ヶ月前の新潟・福島豪雨や度重なる台風による大雨で地盤が緩んでいたこともあって、土砂崩れによる道路や河川等の損壊が広範囲に及び、集落の孤立や浸水が起きるなど、生活基盤の復旧への大きな障害となった。

新潟県建設業協会長岡支部及び小千谷支部は、新潟県長岡地域振興局との災害協定に基づき、会員企業が迅速な応急復旧活動に取り組んだ。余震の続く中、会員企業は一致団結して、人命救助・復旧のための重機の手配、パトロール、土砂閉塞処置、陥没道路の復旧等、率先して対応に当たり、地域住民から感謝された。



新潟県中越地震の被害（小千谷市）



新潟県中越地震の応急復旧作業（小千谷市）

また、平成 17 年 12 月中旬から上中越地域を中心に記録的な大雪（平成 18 年豪雪）に見舞われ、新潟県では「豪雪対策本部」を設置し、十日町市など 11 市町村に「災害救助法」を適用した。

新潟県建設業協会十日町支部は、新潟県との災害協定に基づき、会員企業の団結力を生かして管内幹線道路の迅速な除・排雪作業に取り組むとともに、一人暮らしや要介護世帯の屋根の雪下ろしなどに対しても 24 時間体制で柔軟に対応することで、地域住民の安全・安心確保に努めた。

なお、新潟県建設業協会のこうした救援復旧活動に対して、新潟県知事から感謝状が贈られている。



新潟県知事の感謝状

長野県北部豪雪災害の復旧活動（長野県建設業協会、長野県建設業協会松筑支部）

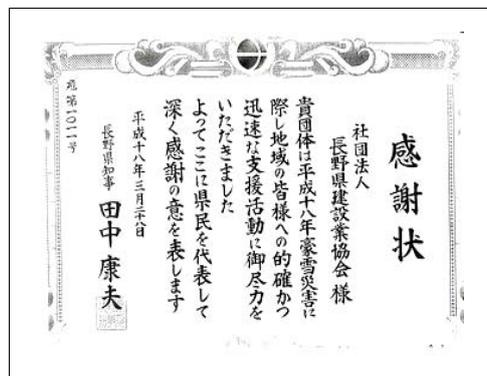
平成 17 年度冬期の記録的な大雪（平成 18 年豪雪）は、長野県北部各地で大きな災害を引き起こした。

平成 18 年 1 月、長野県建設業協会は、長野県豪雪対策本部から飯山、下高井地区への除雪支援の要請を受け、急遽、支援体制を整え、飯山建設事務所管内の幹線道路の除雪作業を開始した。また、飯山市からは知的障害者更生施設「常岩の里ながみね」の屋根の雪下ろしを依頼され、長野県建設業協会松筑支部では 38 人の会員を集め、雪下ろしのボランティア活動に取り組んだ。

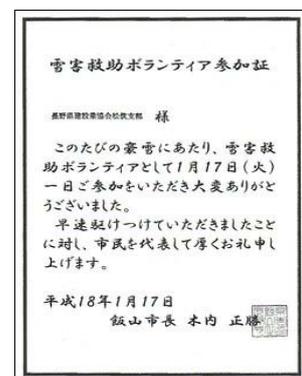


知的障害者更生施設「常岩の里ながみね」（飯山市）での除雪作業

長野県建設業協会および松筑支部のこうした復旧支援活動に対して、長野県知事からは感謝状が、飯山市長からは雪害救助ボランティア参加証が贈られた。



長野県知事の感謝状



ボランティア参加証

## 台風 23 号及び豪雪災害の復旧活動（高山建設業協会、吉城建設業協会）

平成 16 年 10 月、本州を縦断した大型台風 23 号は、岐阜県内にも大きな被害をもたらした。岐阜県建設業協会傘下の高山建設業協会、吉城建設業協会は、自主的に組織した建設防災支援隊の行動指針に基づき、直後から 24 時間体制で災害復旧活動にあたり、被害拡大防止に尽力した。

また、平成 17 年 12 月から 18 年 1 月にかけて県内各地を襲った記録的な大雪（平成 18 年豪雪）の際には、両協会の会員企業は、住民の生活道路確保のため、県道、市町村道はもとより、民家の軒先に至るまで除雪活動をいち早く開始した。年末年始降り続いた雪による積雪量は高山市内でも 1m を超える状況となり、会員企業は正月返上で除雪活動を行い、地域の安全・安心を確保した。また、吉城地区では、高齢者、身障者の居宅屋根の雪下ろし、学校通学路の整備、神社仏閣の雪下ろしなどボランティア作業に精力的に取り組み、地域住民から大いに感謝された。



平成 18 年豪雪時の除雪作業（高山地区）



平成 18 年豪雪時の除雪作業（吉城地区）

## 台風 21 号による豪雨災害の復旧活動（三重県建設業協会）

三重県建設業協会は、災害発生時の応急復旧活動を円滑に実施するため、平成 8 年 12 月、三重県との間に「地震・風水害・その他の災害応急工事に関する協定」を締結した。その後、平成 15 年 3 月には、東海・東南海地震などで想定される津波災害への対応や、広域災害時の緊急輸送路確保などを加えて、新たに「地震・津波・風水害等の緊急時における基本協定」を締結するとともに、緊急時には会員企業が自らの判断で調査及び応急工事を実施できる「運用協定」を締結した。こうした協定に基づき、同協会では緊急応援連絡体制ネットワークを構築し、また山岳部の会員企業に対し、災害時に備えた燃料や資材の備蓄を奨励した。

平成 16 年 9 月、三重県を襲った台風 21 号による記録的豪雨は、土石流や土砂崩れで多くの人命や貴重な財産が失われるなど大災害となったが、同協会の緊急応援連絡体制ネットワークが有効に機能し、会員企業による地域を越えた積極的な災害復旧活動が繰り広げられた。その結果、被災地の唯一の生活道路であった国道 42 号線の決壊を 3 日間で復旧させるなど、地域住民の生活や財産の保全に貢献した。また、備蓄されていた燃料や資材は各地の復旧活動に大いに活用された。

また、平成 18 年には三重県企業庁との間に、「地震・津波・風水害等の緊急時における基本協定」を締結し、災害時に最も重要となる飲料水等の供給が可能となるよう水道施設等の機能の確保にも取り組むこととなった。



台風 21 号による豪雨災害の復旧活動

国道 42 号線の早期復旧の記事  
(南海日日新聞)

## 台風 14 号による河川災害の復旧活動（山口県建設業協会玖珂支部）

平成 17 年 9 月、台風 14 号に伴う豪雨により山口県と広島県の県境を流れる錦川が氾濫し、住宅の浸水、道路の決壊等、広範囲にわたって被害が発生した。特に流域の美川町と岩国市北部では住宅の被害が激しく、高齢者世帯が多いこともあってその復旧作業は困難を極めた。

そうした中で、山口県建設業協会は、県との間で締結していた「大規模災害時における応急対策業務に関する協定」に基づくボランティア要請に応じて、美川町、岩国市周辺の 4 つの協会支部（玖珂、岩国、柳井、周南）会員による緊急支援チームを編成し、現地に送り込んだ。支援チームへの参加は 31 社、延べ 118 人、ダンプ等 76 台にのぼり、自衛隊や他のボランティアと共同で迅速な応急復旧活動に取り組んだ。

特に被災地に隣接する玖珂支部は会員数 11 社の小規模な支部であるが、全社が翌日早朝から現地入りして、混乱状態の中一致団結して、住宅の泥土・ゴミの搬出、水洗い、道路上に出された大量のゴミ・不燃物の搬出等に精力的に従事し、その迅速な対応は地域住民から大いに感謝された。

同協会では、日頃から道路・河川の清掃活動等を積極的に展開しており、それらの活動経験が今回の応急復旧活動にも見事に活かされた。



道路上の泥土撤去



ゴミ・不燃物の搬出



住居内の泥土搬出



道路清掃

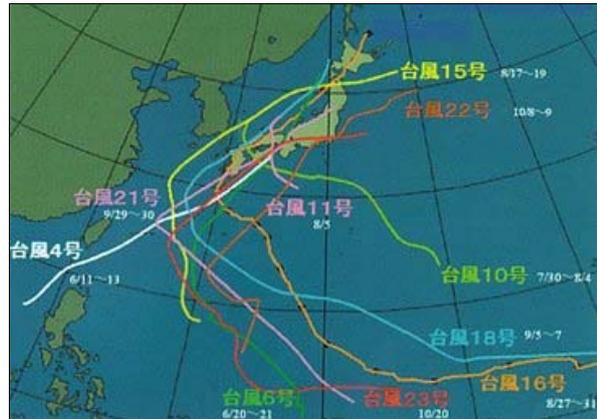
相次いで発生した台風災害時の復旧活動（香川県建設業協会）

平成 16 年、四国地方に相次いで上陸又は接近した台風は、香川県内各地で住宅や公共施設、ライフラインに甚大な被害をもたらした。

香川県建設業協会では、大雨、洪水、高潮による家屋浸水を食い止めるための土嚢の設置や、公共施設の復旧、被災ゴミの収集・運搬等、会員企業が一丸となって災害復旧活動にあたった。

建築部会からは約 50 社、延べ 150 人、高松支部からは約 300 社、延べ 4,000 人が出動したほか、他の支部でも同様の対応が図られた。この経験から、同年 12 月には香川県との間で「災害時における応急対策業務の実施に関する協定」を締結し、支援体制をさらに強化した。

また、同協会では、献血奉仕活動、清掃奉仕活動等にも全支部を挙げて積極的に取り組んでいる。



平成 16 年の上陸台風



土石流による家屋倒壊（さぬき市）



高潮による路面冠水（高松市）



被災ゴミの収集・運搬（高松市）



海岸の流木撤去（豊浜町）

## (2) 防災支援活動

協会及び支部の防災支援活動として、次の2事例を紹介する。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A2-01	岐阜県	(社)多治見建設業協会	防災パンフレットの作成・配布
A2-02	静岡県	(社)静岡県建設業協会	災害対策関連冊子の作成・配布

事例 A2-01 : 岐阜県

### 防災パンフレットの作成・配布（多治見建設業協会）

岐阜県を含む東海地域では、近い将来、発生する可能性が高い「東海・東南海地震」への準備対策が必須である。

多治見建設業協会では、こうした大地震や台風などの自然災害発生時に、地元の建設業者が速やかに現場に出動できる組織体制を整えている。さらに、こうした取組みを地域住民に広く知ってもらうために「東濃西部三市防災パンフレット」を作成し、各市役所や公民館などで無料配布している。このパンフレットには、緊急時の連絡系統図をはじめ、担当会社、出動できる人員や機械の数などが詳しく掲載されており、住民の不安を取り除くとともに、災害時の連携強化の一翼を担うものとして、行政当局からも高く評価されている。



「東濃西部三市防災パンフレット」

## 災害対策関連冊子の作成・配布（静岡県建設業協会）

東海地震の発生が予測される静岡県では、災害時に国・県・市町と県及び地区建設業協会とがネットワークを最大限に発揮して活動できるよう体制整備を進めている。その一環として、災害対策に関連する各種の調査研究を実施し、次のような冊子としてまとめ、県下に広く配布してPRしている。

①「災害協定締結状況調査及び災害出動事例集」（平成 15 年 7 月）

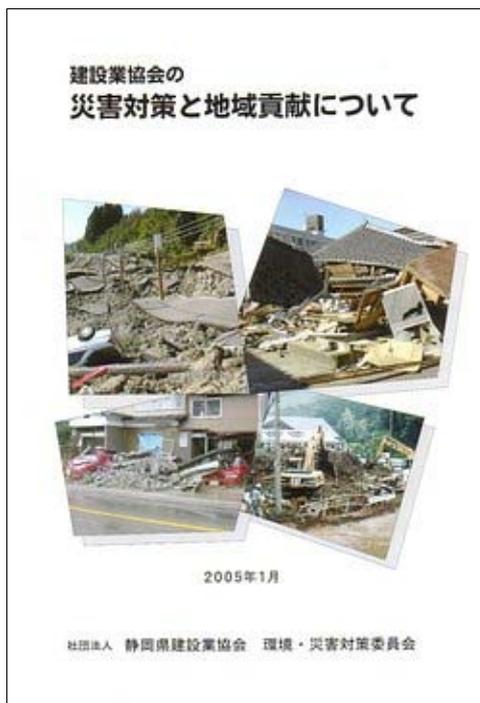
全県下の災害協定締結状況について実態調査を実施して、各機関との円滑な協調体制を再確認し、その結果を災害出動事例とともにまとめたもの。

②「建設業協会の災害対策と地域貢献について」（平成 17 年 1 月）

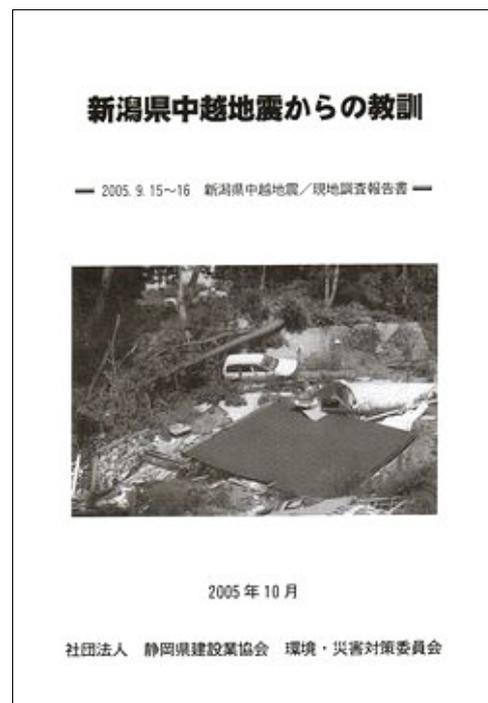
建設業にとって災害時の応急復旧活動は、地域社会に貢献する主要な活動であることを、広く県民に理解してもらうためのもの。

③「新潟県中越地震からの教訓」（平成 17 年 10 月）

新潟県中越地震時における新潟県建設業協会の対応状況について、現地調査を行って記録にまとめることで、近い将来発生が想定される東海地震の初動体制整備に役立てようとしたもの。



「建設業協会の災害対策と  
地域貢献について」



「新潟県中越地震からの教訓」

また、公共事業における市民提案を生かした工事施工が求められていることから、業界・住民・行政が一体となった市民提案型公共工事の意義・手法等を紹介して意見交換を行い、その記録を「市民参加型公共事業と建設業の取組み」（平成 17 年 11 月）としてまとめている。

### (3) 建設業ふれあい活動

協会及び支部の建設業ふれあい活動として、次の2事例を紹介する。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A3-01	岩手県	(社)岩手県建設業協会 青年部連絡協議会	子供たちの「建設業ふれあい事業」の実施
A3-02	京都府	(社)京都府建設業協会 京都支部	「鴨川フェスタ」の開催

#### 事例 A3-01 : 岩手県

#### 子供たちの「建設業ふれあい事業」の実施（岩手県建設業協会青年部連絡協議会）

岩手県建設業協会では、13支部の青年部が中心となって、地域の子供たちを対象とした「建設業ふれあい事業」を平成2年度から毎年実施している。

この事業は、地域の子供たちが体験学習、勤労奉仕、親子現場見学会等を通じて建設業にふれあう機会を設けることにより、建設業に対する理解と関心を深めてもらうことを目的としたもので、「I I（インダストリアル・アイデンティティ）戦略」の一環として位置付けられる。平成17年度も6月から11月にかけて13支部で計15回が開催され、延べ2,000名が参加した。



光波測量体験（盛岡支部）



高所作業車の乗車体験（釜石支部）



建設機械操作体験（二戸支部）



建設機械操作体験（水沢支部）

(写真：日刊岩手建設工業新聞)

「鴨川フェスタ」の開催（京都府建設業協会京都支部）

京都府建設業協会と同京都支部では、建設業の構造改善推進事業の一環として、平成8年より毎年、京都府民を対象に鴨川河川敷において「鴨川フェスタ」を開催している。

「鴨川フェスタ」は、道路や河川整備などの公共事業への理解と建設業のイメージアップを目的としたイベントで、次のようなさまざまな展示や体験コーナーを設けている。

- ① 高校生実習作品展示コーナー
- ② 建設技術展示コーナー
- ③ 災害・防災対策展示コーナー
- ④ 環境対策・リサイクルコーナー
- ⑤ 建設重機体験コーナー

また、魚手づかみ大会、特設ステージでのライブ演奏、公開生放送など多彩なメニューも揃えて、毎年3万人が訪れる地域密着型の人気イベントとなっている。



鴨川フェスタ案内記事



鴨川フェスタ会場ゲート



高所作業車体験



廃材利用植木鉢づくり



測量体験

#### (4) 環境美化活動

協会及び支部の環境美化活動として、次の3事例を紹介する。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A4-01	兵庫県	(社)兵庫県建設業協会	「全県一斉奉仕」活動
A4-02	愛媛県	(社)愛媛県建設業協会	さまざまな社会奉仕活動
A4-03	大分県	(社)大分県建設業協会 青年部会	「不法投棄監視パトロール」の実施

#### 事例 A4-01 : 兵庫県

##### 「全県一斉奉仕」活動（兵庫県建設業協会）

兵庫県建設業協会は、昭和60年、兵庫県知事が提唱した6月1日の善意の日及び全県公園化構想に賛同し、協会の各支部会員がそれぞれの地域の河川・公園等の清掃にボランティア参加する「全県一斉奉仕」活動を開始した。

この活動は、奉仕作業を通して建設業のイメージアップを図るもので、以後20年以上にわたり継続実施されており、毎年約2,000人が参加している。また、平成9年からは、兵庫県が推進する「クリーンアップひょうごキャンペーン」に組み込まれ、地域を代表する清掃美化活動として定着している。平成17年も、各支部及び本部の会員が、国道・県道・市道の路肩や河川敷に散乱する空き缶、空き瓶等のゴミの収集、雑草の刈り取り、清掃運搬作業を実施した。



海岸清掃（明石）



道路清掃（西宮）



道路清掃（伊丹）



河川清掃（尼崎）

## さまざまな社会奉仕活動（愛媛県建設業協会）

愛媛県建設業協会では、河川・道路の清掃活動をはじめ、毎年さまざまな社会奉仕活動を展開している。

### ①河川・道路の清掃奉仕活動

愛媛県が推進する「クリーン愛媛運動」の強調月間である毎年7月、会員企業の従業員が多数参加して、県内の河川・道路のゴミ・空き缶等の収集、除草、カーブミラー清掃等の清掃奉仕活動を実施。平成17年度は約1,800名が参加。

### ②献血協力

各支部の会員が毎年定期的に献血に協力。平成17年度は約900名が協力。

### ③交通安全活動

毎年8月、女性部の会員が中心となって交通の要所に交通茶屋を開設し、安全運転を呼びかけて、お茶やタオル等を配布。平成17年度は約300名が参加。

### ④児童福祉施設等へのチャリティー活動

協会主催のイベントで青年部会が会員から寄付金を募り、県内各所の児童福祉施設や公益団体等に贈呈。

### ⑤防災訓練と災害時の復旧ボランティア

愛媛県との間で締結している「大規模災害時における応急対策業務に関する協定」に基づく防災訓練を実施するとともに、災害時には復旧活動に従事。



河川の除草（松山）



道路側溝の掃除（宇和島）



カーブミラーの清掃（松山）



道路わきのゴミ拾い（宇和島）

「不法投棄監視パトロール」の実施（大分県建設業協会青年部会）

大分県建設業協会青年部会は、平成 17 年 4 月、廃棄物の不法投棄を抑制するために「不法投棄監視パトロール隊」を結成した。これは、県下を河川・地域ごとに 9 ブロックに分けてパトロール隊を組織し、毎週土日を利用して道路わき、河川敷、海岸、山林などを巡回して不法投棄がないか監視する活動で、現在約 100 社が参加している。不法投棄物を発見した場合は、写真、地図を添付して国・県に報告書を提出する。

この活動は、美しい大分づくりに向けて県が推進している「ごみゼロおおいた作戦」に貢献したとして、平成 18 年に功労者表彰を受賞している。



パトロール出発式



山林道路わきのパトロール



河川敷のパトロール



大分県知事からの感謝状

## (5) 環境保全活動

協会及び支部の環境保全活動として、次の事例を紹介する。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A5-01	岐阜県	(社)岐阜県建設業協会	「環境に配慮する建設業」の取組み

事例 A5-01 : 岐阜県

### 「環境に配慮する建設業」の取組み（岐阜県建設業協会）

岐阜県建設業協会は、環境委員会が中心となって「環境に配慮する建設業」を目標とした取組みを進めており、全12地区協会では次のような活動を行っている。

- ①ISO14000 認証取得の推進（郡上建設業協会では会員企業と共同取得済み）
- ②建設廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進
- ③建設機械の排出ガス対策
- ④植栽や屋上緑化等による温暖化防止対策
- ⑤打ち水作戦等による環境改善
- ⑥河川・道路及び建設現場とその近隣地域の清掃活動

また、こうした活動を取りまとめた報告書やチラシを作成して、広く県民にPRすることで、建設業に対する理解促進に注力している。



植栽活動（吉城）



国道脇の花壇整備（郡上）



打ち水大作戦（岐阜駅前）



流出重油の除去作業（天王川）

## (6) 社会福祉活動

協会及び支部の社会福祉活動として、次の2事例を紹介する。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A6-01	宮城県	(社)宮城県建設業協会 登米支部	献血活動
A6-02	石川県	(社)金沢建設業協会	「奉仕委員会」による社会奉仕活動

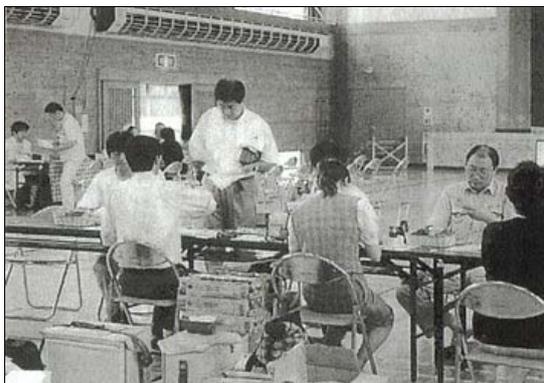
### 事例 A6-01：宮城県

#### 献血活動（宮城県建設業協会登米支部）

宮城県建設業協会登米支部では、平成8年より、毎年7月の「愛の血液助け合い運動」月間に合わせて、加盟会員の協力による大規模な献血活動を行っている。

登米支部における献血活動は、会員35社から毎回100名以上が参加しており、4万ミリリットルを超える採血量は、宮城県内で必要とされる輸血用血液の1ヶ月分以上となっている。

なお、同支部は献血活動以外にも、河川や道路の清掃など地域社会への奉仕活動に積極的に取り組んでいる。



毎年7月の献血活動（登米支部）

(写真：日赤みやぎ)

## 「奉仕委員会」による社会奉仕活動（金沢建設業協会）

金沢建設業協会では、昭和 61 年に「奉仕委員会」を設置して以来、毎年会員企業に協力を呼びかけて各種の社会奉仕活動を続けている。

### ①緑化推進への寄付と清掃活動

昭和 61 年より毎年「森の都金沢緑化基金」への寄付を行うとともに、昭和 62 年からは樹木の寄付による植樹活動や公園等の清掃活動も実施している。

### ②高齢者世帯等の屋根の雪下ろし

昭和 61 年以来、冬期に雪下ろしが困難となる高齢者世帯等に対して担当企業を定め、対象世帯からの依頼に応じて迅速な雪下ろし作業を行っている。

### ③献血協力

平成 4 年度より、献血者が少なくなる冬季に会員企業の従業員に献血を呼びかけ、毎年 200 人以上が応募して協力している。

### ④海岸清掃への重機派遣

タンカーの重油流出事故をきっかけに始まった金沢海岸の美化清掃ボランティアに、平成 10 年から会員企業が建設重機と操作員を派遣して協力している。

### ⑤大規模災害時の応急対策活動

石川県県央土木総合事務所及び金沢市等との間で「災害時における応急対策活動に関する協定」を締結して、大規模災害時の応急支援体制を整えている。



樹木の寄付による植樹活動



献血への協力



高齢者世帯の雪下ろし



海岸清掃への重機派遣

## (7) 建設業の啓蒙・イメージアップ活動

協会及び支部の建設業の啓蒙・イメージアップ活動として、次の事例を紹介する。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A7-01	宮城県	東北建設業協会青年会 連絡協議会	ラジオ番組「みちのく漫遊記」による啓蒙活動

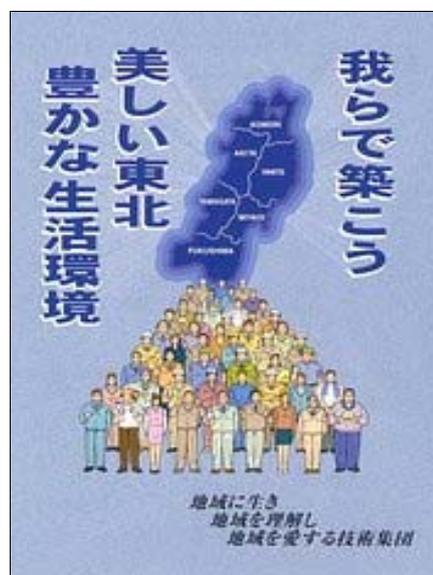
事例 A7-01：宮城県

### ラジオ番組「みちのく漫遊記」による啓蒙活動（東北建設業協会青年会連絡協議会）

東北の建設業の若きリーダーたちで組織する東北建設業協会青年会は、建設活動を通して地域社会に貢献する産業としての正しい理解と評価を得るために積極的に活動している。

同会は、地域住民とともに「自然と共存した豊かな生活環境の創造」を目指すことを大きなテーマとして掲げており、そうした考えのもと、東北での公共事業推進の重要性についてパンフレットを作成して、地域の理解を求めた。

また、平成12年度からは、広く国民・社会への理解を深めるため、ラジオ番組「みちのく漫遊記」を企画し、地域社会の基盤整備によっていかに自然が守られ、暮らしが良くなったかという視点で、東北各地の基盤整備状況を紹介している。「みちのく漫遊記」は、東北6県のラジオ局のアナウンサーやタレントが、お土産持参で東京の文化放送のスタジオを訪れ、東北の情報を首都圏経由で発信するという独自のスタイルの番組で、放送ネットワークを活用した成功例として注目されている。



公共事業推進パンフレット



津軽ダム（平成12年11月放送）



東北新幹線八戸延伸（平成15年1月放送）

「みちのく漫遊記」で紹介した社会基盤整備

## (8) その他

協会及び支部のその他の活動として、次の事例を紹介する。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A8-01	京都府	(社)京都府建設業協会 船井支部	鳥インフルエンザ防疫作業

事例 A8-01：京都府

### 鳥インフルエンザ防疫作業（京都府建設業協会 船井支部）

平成 16 年 2 月 29 日、京都府船井郡丹波町の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの感染が確認された。京都府から資機材調達等の要請を受けた京都府建設業協会船井支部は、会員企業に呼びかけて作業員延べ 500 人と建設機械、ユニック車等を投入した。会員企業は速やかに鶏の処理、鶏舎の消毒、処分用の穴掘り等の防疫作業に従事し、鳥インフルエンザの拡大防止に努めた。防疫措置は 3 月 22 日に終了し、3 週間の検査期間を経て 4 月 13 日移動制限措置は解除された。船井支部会員のこうした貢献に対して京都府知事から感謝状が贈られた。



鶏処分用穴掘り



鶏の処分



処分された鶏



京都府知事からの感謝状

### 3. 2 会員企業の活動事例

都道府県建設業協会の会員企業は、地域の安全・安心確保を最優先課題と捉えており、災害時の復旧活動では常に中心的役割を果たしている。また、各社独自のテーマを持った地域とのふれあい活動や、環境美化・保全活動も活発に行われている。これらの活動には、地元企業ならではの発想が随所に活かされており、既に地域社会に定着しているものが少なくない。

こうした会員企業の活動の中から、ここでは次の13事例を紹介する。

事例No.	都道府県	企業名	活動内容
B1-01	神奈川県	(有)昭和建設	福井豪雨及び新潟県中越地震の復旧支援活動
B1-02	福井県	森田建設(株)、(株)関組、(株)梅田建設	福井豪雨災害の復旧活動
B1-03	福井県	(株)長崎組	平成18年豪雪災害の復旧活動
B2-01	北海道	飛鳥建設(株)札幌支店	工事現場見学会とクリスマスイベントの開催
B2-02	北海道	空知経営研究会	「夏だ！そらちだ！ムシ・虫大作戦」の開催
B2-03	北海道	(株)岸本組	「びばい百万凧まつり」へのボランティア参加
B3-01	北海道	(株)平雄組	「石狩川下覧権(くだらんかい)」の活動
B3-02	北海道	北辰土建(株)	公園清掃や交通安全指導等の活動
B3-03	青森県	田中建設工業(株)	「クリーンロード作戦」とブナの植樹
B3-04	宮城県	若生工業(株)	「三陸道ビオトープ」による自然保護活動
B3-05	静岡県	(株)若杉組	「カーブミラー・クリーン作戦」と河川清掃
B3-06	福井県	(株)谷組	河川・道路清掃をはじめとする地域奉仕活動
B4-01	広島県	藤元建設工業(株)	河川や林地の保全活動

## (1) 災害復旧支援活動

会員企業の災害復旧支援活動として、次の3事例を紹介する。

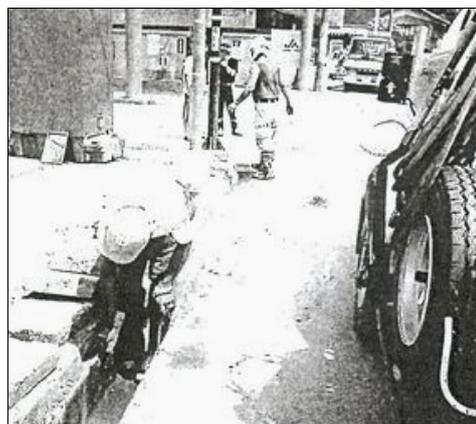
事例No.	都道府県	企業名	活動内容
B1-01	神奈川県	(有)昭和建設	福井豪雨及び新潟県中越地震の復旧支援活動
B1-02	福井県	森田建設(株)、 (株)関組、(株)梅田建設	福井豪雨災害の復旧活動
B1-03	福井県	(株)長崎組	平成18年豪雪災害の復旧活動

### 事例 B1-01 : 神奈川県

#### 福井豪雨及び新潟県中越地震の復旧支援活動 ((有)昭和建設)

平成16年7月、福井県内を襲った集中豪雨(福井豪雨)では、4,300世帯が床上浸水するなど大きな被害が発生した。その状況を知った相模原市建設業協会(神奈川県)は、特別対策委員会に設けた災害復旧作業隊の隊員10名を、復旧支援ボランティアとして現地に派遣した。派遣隊は、3日間をかけて美山町と池田町の県道や民家でバキュームダンプと高圧洗浄機による泥土除去・清掃作業に精力的に取り組む、住民の生活回復に貢献した。相模原市の(有)昭和建設は、派遣隊の隊長として中心的役割を果たした。

また、同年10月に発生した新潟県中越地震の際にも、(有)昭和建設をはじめとする派遣隊4名が、長岡市や小千谷市でブルーシートやトラロープ、紙食器等を届けるなど、率先して支援活動にあたった。



福井豪雨による道路側溝の泥土除去作業(美山町)

福井豪雨災害の復旧活動（森田建設(株)、(株)関組、(株)梅田建設）

平成 16 年 7 月の福井豪雨では、堤防決壊や土砂の流出により県内各地の道路が寸断され、復旧活動にとって大きな障害となった。そうした中、特に被害の大きかった池田町の森田建設(株)、(株)梅田建設、及び越前市の(株)関組は、いち早く被害現場に向かって出動し、献身的かつ迅速に道路の応急復旧作業を進めて二次災害を食い止め、地域住民の安全を確保した。



福井豪雨災害の復旧作業（池田町：森田建設(株)）



福井豪雨災害の復旧作業（越前市：(株)関組）



福井豪雨災害の復旧作業（池田町：(株)梅田建設）

## 平成 18 年豪雪災害の復旧活動（(株)長崎組）

平成 17 年 12 月から翌年 1 月にかけての豪雪（平成 18 年豪雪）は福井県各地に大きな被害をもたらした。中でも県内一の豪雪地帯である大野市の(株)長崎組は、社長のもとで全社員が一致団結して、機動力を活かし、主要道路をはじめ生活道路にいたるまで、昼夜を問わず除雪に取り組んだ。除雪車の入り込めない箇所での人力での除雪、法面の着雪落とし、倒木の処理などあらゆる作業に従事し、地域住民の日常生活の維持と安全安心確保に貢献した。



平成 18 年豪雪の除雪作業



法面の着雪落とし



倒木処理

## (2) 建設業ふれあい活動

会員企業の建設業ふれあい活動として、次の3事例を紹介する。

事例No.	都道府県	企業名	活動内容
B2-01	北海道	飛鳥建設(株)札幌支店	工事現場見学会とクリスマスイベントの開催
B2-02	北海道	空知経営研究会	「夏だ!そらちだ!ムシ・虫大作戦」の開催
B2-03	北海道	(株)岸本組	「びばい百万風まつり」へのボランティア参加

事例 B2-01 : 北海道

### 工事現場見学会とクリスマスイベントの開催 (飛鳥建設(株)札幌支店)

飛鳥建設(株)札幌支店は、施工中の留萌ダム建設工場の現場において、工期4年の間毎年、地元の小学生・中学生や団体等を招いて現場見学会とクリスマスイベントを開催した。

現場見学会では、工事状況の見学、建設車両の展示や大型ダンプの体験試乗等が行われ、ダム建設をはじめとする社会資本整備に対する理解を深め、建設業の重要性をアピールした。



大型重機の展示



現場見学会開催案内

また、毎年クリスマスの時期には、工事現場に大型のツリーを飾り、小・中学生や職員、家族らを招待して、イルミネーションの点灯式やキャンドルサービスを行い、子供たちにプレゼントを贈るなど、積極的に地域住民との交流を図っている。



クリスマスイルミネーション



サンタクロースからのプレゼント

## 「夏だ！そらちだ！ムシ・虫大作戦」の開催（空知経営研究会）

空知経営研究会（葉月会）は、昭和 44 年に空知建設業協会の若手有志によって設立され、以来様々な地域貢献活動を展開している。

平成 16 年からは、毎年、全国建設青年の日に、市内の子供たちを招いて「夏だ！そらちだ！ムシ・虫大作戦」を開催している。これは、子供たちの好きなカブトムシやクワガタについて、生態や見分け方、飼育方法等をクイズ形式で勉強しながら、自然や生き物の大切さを学んでもらうイベントで、来場した子供たちには、抽選で約 300 匹のカブトムシやクワガタがプレゼントされる。提供するカブトムシやクワガタは、研究会メンバーが工事現場等で採集して持ち寄っている。

平成 18 年には、「お絵かき大作戦」として、虫の絵のコンクールを同時開催し、受賞者には世界の甲虫をプレゼントするなど、子供たちから大人まで楽しめる大好評のイベントとして定着してきた。



「ムシ・虫大作戦」ポスター（平成 17 年）



カブトムシやクワガタの展示



虫博士による説明



カブトムシやクワガタの抽選会



「お絵かき大作戦」受賞作品

「びばい百万凧まつり」へのボランティア参加（(株)岸本組）

「びばい百万凧まつり」（美唄観光物産協会主催）は、石狩川の河川敷で地域の要望実現を願って連凧や二十畳大凧等を揚げるイベントであり、毎年3万人を超える市民が参加する地域の代表的イベントとして定着している。美唄と浦臼を結ぶ美浦大橋の早期着工や、大規模食料備蓄基地の誘致推進など、美唄のまちづくりの提言を掲げた祭りとしても注目されている。

(株)岸本組は、この祭りの第1回（平成3年）より実行委員会に参加して、社員による会場設営、駐車場管理等のボランティア活動、協賛会社獲得、抽選会の景品提供等、中心的役割を果たしている。

なお、この祭りの実績が認められて、美浦大橋の早期着工が実現している。



「百万凧まつり」ポスター



「びばい百万凧まつり」会場ゲート



連凧揚げ



二十畳大凧揚げ

### (3) 環境美化活動

会員企業の環境美化活動として、次の6事例を紹介する。

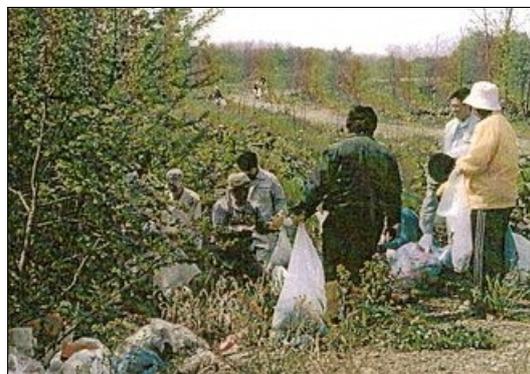
事例No.	都道府県	企業名	活動内容
B3-01	北海道	(株)平雄組	「石狩川下覧権(くだらんかい)」の活動
B3-02	北海道	北辰土建(株)	公園清掃や交通安全指導等の活動
B3-03	青森県	田中建設工業(株)	「クリーンロード作戦」とブナの植樹
B3-04	宮城県	若生工業(株)	「三陸道ビオトープ」による自然保護活動
B3-05	静岡県	(株)若杉組	「カーブミラー・クリーン作戦」と河川清掃
B3-06	福井県	(株)谷組	河川・道路清掃をはじめとする地域奉仕活動

#### 事例 B3-01 : 北海道

#### 「石狩川下覧権(くだらんかい)」の活動(株)平雄組

(株)平雄組は、平成8年、「石狩川下覧権(くだらんかい)」を結成し、毎年7月7日の「石狩川クリーンアップ作戦」での河川清掃や、石狩川の「川下り」等を実施している。また、平成15年からは、子供を対象とした「子供川塾」を年2回開催し、野外学習を通して川の楽しさ、恐ろしさ、自然を守る心を教えている。

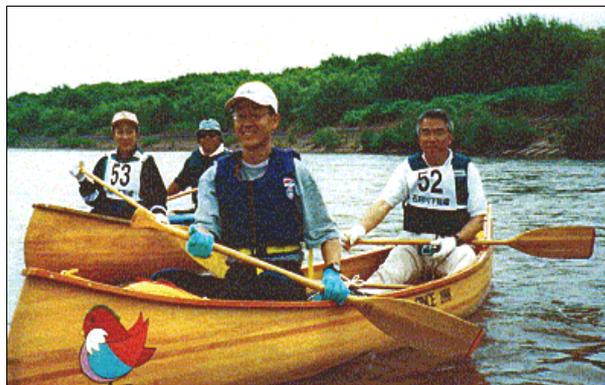
「石狩川下覧権」は、こうした河川啓蒙活動を行いながら流域住民の意見を取り入れて、これからの河川のあり方を模索していきける団体を目指している。



「石狩川下覧権」の河川清掃活動



川下り開催案内



カヌーによる川下り

## 公園清掃や交通安全指導等の活動（北辰土建(株)）

北辰土建(株)は、地域清掃、交通安全指導、現場見学会、工事用フェンスの活用等、さまざまな社会貢献活動を行うことで、地域とのふれあいを大切にしている。

## ①公園清掃活動

市内の公園にある彫像や看板の清掃奉仕作業に取り組んでいる。普段手の届かない場所も高所作業車を使って念入りに磨き上げた。

## ②小学生の交通安全指導

子供たちを交通事故から守ろうと、毎年春の交通安全運動に合わせて会社近くの小学校の通学路で、交通安全指導を行っている。

## ③現場見学会

同社の現場社員の家族を対象とした親子見学会を毎年開催している。また、平成16年からは小学生の総合学習のための見学会も行い、測量体験などのメニューを提供している。

## ④工事用フェンスへのお絵かき会

小学校のグラウンド造成現場の工事用フェンスを、子供たちのお絵かきキャンバスとして提供。刷毛やペンキも用意して自由に絵を描かせた。



公園の彫像清掃



交通安全指導



現場見学会と測量体験



(写真：北辰土建(株)ホームページ)

### 「クリーンロード作戦」とブナの植樹（田中建設工業(株)）

田中建設工業(株)は、十和田市の奥入瀬バイパス建設工事に長年携わった縁で、開通翌年の平成 10 年より毎年継続して、同バイパス沿いの清掃奉仕と大幌内国有林内にブナの植樹を行っている。

この奉仕活動は「クリーンロード作戦・植樹」として、同社及び関連会社の社員の間で恒例行事として定着しており、森林を歩くことによる心身のリフレッシュ効果も期待している。平成 17 年には総勢 36 人が、清掃班、回収班、植樹班等に分かれて、約 8 kmあるバイパス沿いの空き缶など 16 袋（約 60 kg）のゴミを回収し、その後、国有林内にブナの苗木 100 本を植樹した。



奥入瀬バイパス沿いの清掃



大幌内国有林でのブナの植樹



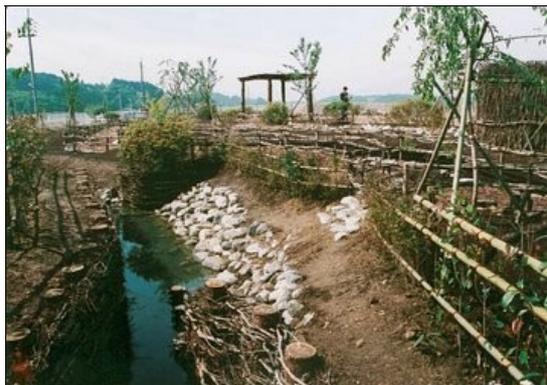
「クリーンロード作戦・植樹」参加者

### 「三陸道ビオトープ」による自然保護活動（若生工業(株)）

平成 16 年、宮城県の三陸道建設事業に携わった施工業者が集まって、沿道地域の自然保護とその啓蒙活動に協力することを目的に、「三陸道の自然を守る会」を設立した。若生工業(株)は、同会の事務局として中心的役割を果たしている。

「三陸道の自然を守る会」は、沿道地域の各自治体・教育機関及び NPO を含む各種民間団体と連携し、「ビオトープ」の思想を生かした、生き物に優しい環境を作り、自然愛護・保護活動の拠点として、あるいは地域の子供たちが身近に自然に接することができる教育の場として提供することを活動内容としている。平成 16 年 6 月にはビオトープの第一弾として完成した「三陸道ものうビオトープ」において、地元の小学生や関係者を招いて、ホタルの幼虫やカワニナ、メダカ等の放流式を行った。また、カブトムシやホタルの幼虫を地元の小学校に贈呈して育ててもらい、大きくなったらビオトープに放してもらおうことにしている。

「三陸道の自然を守る会」のこうした活動による自然環境保全への功績が認められ、平成 17 年のみどりの日には「いきもの環境づくり・みどり部門」で環境大臣から表彰された。



「三陸道ものうビオトープ」



ホタルの放流式



子供たちによる放流



環境大臣からの表彰状

「カーブミラー・クリーン作戦」と河川清掃（株）若杉組

（株）若杉組では、平成6年から「カーブミラー・クリーン作戦」として年1回、旧大東町と御前崎市の全地域に設置されているカーブミラー約3,000本を清掃している。

これは、同社の経営方針である「地域社会に密着した事業活動」の一環として、また、小さな親切運動静岡県本部が主催する「日本列島クリーン大作戦」に合わせて実施しているもので、同社及び協力業者の社員とともに、平成13年に設立したNPO法人「若芽の会」会員も清掃作業に加わっている。

この他にも、交通事故撲滅作戦として、毎月1回市道交差点等で交通安全標語を掲げた「上り旗」を持って交通安全を呼びかけている。

また、河川清掃作戦として、近くを流れる高松川・新野川の除草、清掃を年1回、重機等を使って実施しており、この活動によって、平成17年には静岡県河川協会長から表彰されている。



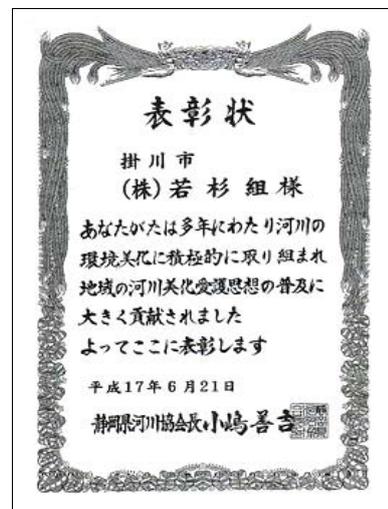
カーブミラー・クリーン作戦



交通事故撲滅作戦



河川清掃作戦



静岡県河川協会長からの表彰状

河川・道路清掃をはじめとする地域奉仕活動（(株)谷組）

福井県小浜市を流れる南川は、春の風物詩「イサザ漁」で有名である。その上流に位置する名田庄村（現おおい町）の(株)谷組は、昭和 60 年から毎年、「イサザ漁」解禁前の 2 月に、南川のヨシの取除き清掃と河床整理の奉仕作業を、重機等を投入しながら全従業員で行っている。平成 5 年からは、周辺の道路のゴミ拾い等清掃及び補修作業も年 2 回、全従業員参加で行うようになった。

他にも、平成 16 年の 23 号台風で道路を塞いだ倒木処理及び路面清掃、青少年旅行村の花壇、縁石等の修繕など、さまざまな地域奉仕活動を積極的に展開しており、その貢献が認められて、平成 16 年には福井県知事特別賞を受賞した。



南川の河川清掃



既設護岸の清掃



台風 23 号による倒木処理・清掃



青少年旅行村の花壇縁石修繕



福井県知事特別賞

#### (4) 環境保全活動

会員企業の環境保全活動として、次の事例を紹介する。

事例No.	都道府県	企業名	活動内容
B4-01	広島県	藤元建設工業(株)	河川や林地の保全活動

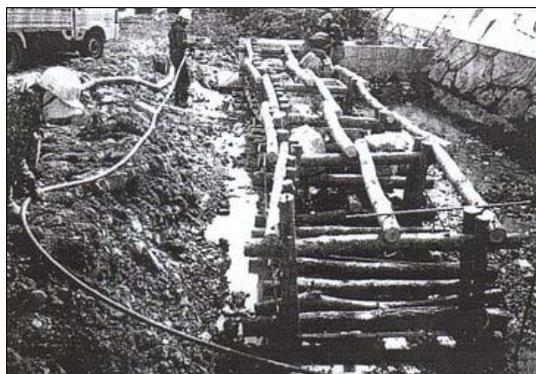
事例 B4-01 : 広島県

#### 河川や林地の保全活動（藤元建設工業(株)）

藤元建設工業(株)は、河川環境の保全をはじめ、溪流湖畔林地内整備、民家の雪下ろし応援など、さまざまな地域貢献活動を行っている。

##### ①河川環境の保全

河川改修が行われた神野瀬川に、漁礁となる木工沈床を設置するとともに、毎年4月、社員総出（約100人）で河川敷の一斉清掃を実施している。



神野瀬川の木工沈床の製作

##### ②溪流林地内整備

平成15年より、国有林地内において下草刈り、倒木処理及び地盤整地を行い、ベンチ等を設置して自然の恵みが楽しめる地点の整備を継続している。

##### ③民家の雪下ろし応援

大雪の年には、社内に雪下ろし応援隊を結成し、高齢者宅の雪下ろしや生活道路の除雪応援を行っている。特に「平成18年豪雪」の際の除雪活動に対して、同社を含む安全対策協議会が中国地方整備局から表彰された。

##### ④保育所園児との交流会

平成18年には、地域の子供たちとのふれあいの場として、市内の保育所で園児とともに建設機械の操作体験などを楽しむ交流会を開催した。



保育園児の建設機械の操作体験



除雪に対する感謝状